

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1271202770		
法人名	アイ・ケア株式会社		
事業所名	グループホームあいあい松戸		
所在地	千葉県松戸市松戸896-3		
自己評価作成日	平成24年2月28日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人人材パワーアップセンター
所在地	千葉県松戸市栗山542-2
訪問調査日	平成24年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療連携に力をいれ、訪問診療医、訪問看護、訪問歯科等と力を合わせて健康管理を行っている。その協力体制によりターミナルケアの実践経験を多く積むことができ、入居者様の「命」を意識することで「今、何をしなければならぬか」を考えながら入居者様を支援している。
 デイサービス、居宅介護支援事業所と併設しており、デイサービスに遊びに行ったり、送迎車を活用してバスハイクに出かけたり、活発な情報交換や事例検討が出来たりと、グループホームの枠にとらわれないケアの実践が出来ている。
 広報誌やブログ等により積極的に情報発信を行い、施設内の雰囲気や入居者様の表情を紹介できるように取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は利用者が過す、すべてのスペースが広々とゆったりと設置され、木目調を中心にした色調で落ち着いて安心して過ごせる場となっています。併設するデーサービスとは入浴等の交流が行われています。職員は利用者にとって「今何が一番大切か、必要な事は何か」を考え笑顔と感謝の気持ちでサービスに努められています。訪問調査時も職員や利用者から「有難う」の言葉が良く聞かれました。又毎月発行される広報誌「あいあい通信」での写真や「状況報告書」(15項目以上に渡っての記録)などを送付して家族の安心と信頼を得ています。医療機関と連携したターミナルケアの実践もしっかり行われています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		